

マレーシアを世界のハラール産業の拠点に！ ～国を挙げてハラール・ハブを目指す～

シンガポール事務所

「世界に 18 億人」。この数字は世界のイスラム教徒（ムスリム）の人口で、世界人口の約 4 分の 1 にあたり、その市場は 6,800 億 US ドル（約 68 兆円）相当とも言われています。しかし、ハラール（イスラム教徒向け）製品の供給量は世界需要の 20%以下であり、需要はさらに拡大していると言われていいます。

そのような中、マレーシアは国教のイスラム教を成長戦略の柱として、ハラール産業の発展による経済成長を図ろうとしています。今回、マレーシア政府の直轄機関としてハラール産業発展の中心的役割を担う「ハラール産業開発公社」(HDC)、ハラール関連産業が集積する工業団地ハラールパークを有する「ポートクラン・フリーゾーン」(PKFZ) を訪問しました。

1 ハラール・ハブを目指すマレーシア政府の取組

ムスリム市場への参入にあたっては、商品やサービスがイスラム教の戒律を満たしていると認定される、つまりハラール認証の取得が重要です。しかし、ハラール認証には国際基準がなく、各国がそれぞれ基準を設けているのが現状です。その中で存在感を増しているのが、国を挙げてハラール産業の発展に取り組んでいるマレーシアです。マレーシアのハラール認証は、サウジアラビアに次いで厳しい規格とされ、認証を取得できれば、イスラム圏のほとんどの国へ輸出できると言われています。

マレーシア政府は 1994 年に世界で初めてハラール認証制度を導入しました。現在は HDC が制度の枠組みや戦略を策定し、イスラム開発局 (JAKIM) がハラール認証を付与しており、認証審査は原材料の成分や製造工程、出荷工程まで厳格に行われます。

マレーシアは世界で唯一、政府機関がハラール認証を付与する国であり、自国のハラール認証制度の信頼を国内外で高めることで、マレーシア製ハラール商品の国際競争力強化を図り、国内外から投資を呼び込もうとしています。また、ハラール関連企業のさらなる誘致・集積を図るため税制優遇措置も充実させており、最終的にはハラール製品・サービスの世界的な生産・流通・貿易・研究開発の拠点としてのハラール・ハブとなることを目指しています。



マレーシアのハラール認証マーク

[HDC ホームページより]

2 ハラール産業開発公社（HDC）

HDC はマレーシア政府により 2006 年に設立されて以来、ハラール産業発展の中心的役割を担ってきました。マレーシアのハラール規格を国際基準として定着させ、ハラール産業を発展させることをミッションとし、ハラール認証制度の普及・定着、ハラール関連企業へのサポート、世界へのハラール発信に取り組んでいます。



HDC 関係者との意見交換

(1) ハラール認証制度の普及・定着に向けて

ハラール認証制度の枠組みや戦略の策定は HDC の役割の 1 つです。認証制度の信頼性を高め、マレーシアのハラール商品の競争力強化を図るため、定期的にイスラム法や商業界の要求を満たすよう制度の見直しを行うとともに、効率的な認証プロセスを研究しています。ハラール関連企業に対してはハラール規格が適切に遵守されるよう、各種研修プログラムやワークショップも提供しています。

またハラール認証取得にあたっては、ハラール商品製造に関わる人材訓練も重要であり、HDC ではハラール制度の普及・啓発及び認証制度の取得、専門家の育成を目的に、それぞれトレーニングプログラムを設けています。

(2) ハラール関連企業へのサポート

国内外からハラール産業への投資を促進するため、ハラール関連企業へのサポートも充実を図っています。

HDC により設立されたグローバル・ハラール・サポート・センターは、投資者向けにハラールマーケットの最新情報を提供するとともに、進出後に貿易を促進するためのサービスを多岐に渡って提供しています。

ハラール・ビジネス・トランスフォーメーション・プログラム（HBT）では、ハラール関連会社の競争力を高めることを目的に、ハラール産業で最も評価の高い製造法や生産・工程・包装の各段階での技術提供、ハラール関連商品の輸入業者・卸業者など関係業者とのつながりの提供、イスラム金融に関するアドバイスなどを行っています。HDC は 2011 年から 2013 年にかけて 909 社のハラール関連業者を支援し、うち日系企業を含む 270 社が大型スーパーや大型小売店へのハラール製品の供給業者となっています。

(3) ハラール＝マレーシアを世界へ発信

HDC では、テレビなどのメディアを通じた広報、世界ハラール会議「World Halal Conference」(WHC) の開催、国際ハラール見本市「MIHAS」を通じて、世界にハラールを発信するとともに、「ハラール＝マレーシア」のブランドイメージ定着を図っています。

年次開催される WHC では、世界各国からハラールビジネスに関わるビジネスリーダー、研究者、学者、行政関係者が出席し、ハラール産業発展のための技術革新、ビジネスへの応用などについて議論されています。また今年4月には、第11回目となる MIHAS が開催され、世界 60 カ国・地域から約 2 万人が来場しました。参加企業は前年比 21.1% 増となる 26 カ国・地域から 521 社となり、今回のハラール製品・サービスの成約額は総額 9 億 6,640 万リンギ(約 305 億円、前年比 21.0% 増)に達したようです。

マレーシアは世界に向けてハラールを発信し、ブランドイメージを定着させることで、国内外から更なる投資を呼び込もうとしています。

3 ハラールパーク

HDC はハラール産業の集積を図るため、ハラール関連の製造業やサービス業が立地する工業団地「ハラールパーク」の設置を進めており、物流やインフラ整備、入居企業へのサポート体制の充実に努めています。加えて政府は条件を満たせば税制優遇措置も図っています。

これまでにハラールパークは国内に 21 カ所設置され、その投資総額は約 80 億リンギ(約 2,480 億円)、雇用者総数は 5,200 人以上に上ります。また、指定のガイドラインを満たしたハラールパークはハルマス (Halmas) と認定され(現在、国内 13 カ所)、ハラールパークの管理者や入居企業などは免税優遇などのインセンティブを受けています。



マレーシア国内のハラールパーク (2014 年 7 月現在) [HDC ホームページより]

今回視察したポートクラン・フリーゾーン (PKFZ) は、ポートクラン港港湾局 (PKA) が所有するポートクラン・フリーゾーン運営会社により運営されています。2008 年に

HDC との共同により、PKFZ の一部エリアが主要なハラール区域として開発が進められ、2011 年にハラールパークとして設定されました。PKFZ は首都クアラルンプールから西へ約 70km、マレーシア最大の港であるクラン港の西港に隣接した箇所に位置しています。

フリーゾーンは自由貿易区域のことで、各国との貿易促進を図るため、輸出向け製品の製造業者の集積、取扱貨物量の増加などを目的に設けられています。PKFZ は製造活動のための自由工業区域と、貿易や再包装、再ラベル、積み替えなどのための自由商業地域から成り、税制優遇だけでなく、手続きの簡素化、時間や物流コスト削減が図られています。

PKFZ の敷地面積 1,000 エーカー（約 400 万㎡）の土地は、8 つのエリアに分かれており、敷地内には、640 エーカーの産業用区域、512 戸の軽工業ユニット、事務オフィス、展示施設やホテルなどの設備が整えられています。



PKFZ のゲートウェイ

そのうち、ハラールパークは第3地区及び第8地区で、50 エーカーの敷地と72 戸の軽工業ユニットが設けられています。特に食品加工、飲食料品、ハラール

原材料、化粧品・医薬品の4つの産業分野に焦点を置き、現在はパーム油関連製品や調味料、食肉製品などを扱う企業が進出しています。

PKFZ では、事業関連の手続き全てを一元的に行うワンストップセンターの機能のほか、HDC と共同で開発されている国際ハラール貿易・指導センターを備え、入居企業に対するサポート体制の充実が図られています。

4 今後ハラール市場を目指すには

ハラール市場に参入しようとする企業は多くある一方、参入にあたっては課題も多いのが現状です。特に非イスラム国家においてハラール市場を目指すには、イスラム教とハラールを正しく認識し、ハラール規格の遵守を徹底する必要があります。今年5月、英国の大手菓子会社のチョコレートから豚由来成分が見つかり、国内では同商品の不買運動が一部発生し、同社のハラール認証も取り消されるという事案が発生しました。（その後、再検査した結果、豚のDNAが発見されず再認証されました。）自国のハラール認証を国際基準とすることを目指すマレーシアでは、他国へのハラール認証を厳格化しようとする動きもあります。

世界各国が注目する、ハラール・ハブを目指すマレーシアの取組。クリアシンガポール事務所では、今後もその動きを注視してまいります。

（三原所長補佐 鹿児島県派遣）